

# 一般質問通告表

平成30年第4回始良市議会定例会（11月29日）

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 萩原 哲郎	1. ボートレースチケットショップ設置計画について	<p>株式会社 博友から、加治木町弥勒のパチンコ店跡地にボートレースチケットショップ設置計画の申請書が始良市に提出された。</p> <p>この事業による本市へのメリットは、20名程度の雇用が生まれることと、売り上げの1パーセントを上限とした環境整備費の交付と固定資産税などの増収が見込まれることである。</p> <p>設置にあたっては、設置場所の自治会等の同意、市議会が反対を決議していないこと、市長の同意が必要であるが、以下を問う。</p> <p>(1) これまでに会社側から市に支払われる年間の最高交付金は、どのような会社で金額はいくらか。</p> <p>また、市内にはパチンコ店が多いが、1店舗当たりの年間交付金はいくらか。</p> <p>(2) ボートレースチケットショップが始良市に設置された場合の経済効果の算出をどのように評価するか。</p> <p>(3) ボートレースチケットショップ設置について市長の考えを問う。</p>	市長
	2. 重富公園の駐車場について	<p>山之口自治会を中心に15自治会約160人の高齢者が集まり、重富公園でグラウンドゴルフ大会を2か月に1回行っているが、近年、参加者も多くなり駐車場が足りない状態である。以前は、希望ヶ丘病院の駐車場を借りていたが、現在は利用できなくなり、各自治会に乗り合わせで来て頂いているがそれでも足りなく、路上駐車もあり危険である。</p> <p>(1) 駐車場の奥に、以前、池を埋め立</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>3. 鹿児島マラソン市民枠について</p>	<p>てた時に埋め戻しされていない残りの市有地がある。残りを埋め戻し、駐車場として利活用出来ないか問う。</p> <p>(2) 埋め戻しされていない残りの市有地は、何平米あり、車何台止められるか問う。</p> <p>(3) この場所が駐車場として利活用できないならば、他にどこか良い場所があるか問う。</p> <p>鹿児島マラソンは平成28年から開催され、県内最大規模のスポーツイベントとして定着しつつある。フルマラソン参加者は、鹿児島市民枠2,500人、県外・海外枠として250人、ふるさと納税枠として250人であり、一般参加枠は7千人となった。始良市民の参加が少なくなり、地元応援の方々の不満が大きい。</p> <p>フルマラソンの折り返し地点が重富地区にあり、市職員をはじめ多くのボランティアスタッフが参加しており、大会の運営に始良市も大きな関わりを持っている。また、市観光協会や市商工会、地元の重富校区コミュニティ協議会などの協力を得ながら、飲み物や加治木まんじゅうなどの提供を行い、ランナーに声援を送っているが、鹿児島市民枠2,500人に対して始良市民枠は0人である。</p> <p>始良市は協力市として市民枠を100～200人は欲しいと思う。また、もらえる権利があると思うが、始良市民ランナーのために、始良市代表の市長の考えを示せ。</p>	市 長
	<p>4. 市内のトイレの清掃と修繕について</p>	<p>建昌城跡地のトイレは、市民農園や一般の方々が利用されているが、非常に汚く、トイレトペーパーの紛失や不足があると聞く。</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>(1) 建昌城跡のトイレ清掃は、月に何回行っているのか問う。また、市内のトイレ清掃・トイレトペーパー紛失状況を問う。</p> <p>(2) トイレのドアが壊れている。修繕をお願いしていたが修繕されていない。ドア一枚修繕するのにいくらかかるのか。故障した原因は何か問う。</p>	
2. 堂森 忠夫	1. 各分野の人材育成について	<p>団塊世代が後期高齢者に近づいているなかで、今後、少子高齢化が一段と進み、周りの社会環境は全ての分野で人材不足となり、色々な活動や継承に支障を来す。各事業や活動を現状維持し存続するために、次の分野の人材育成について問う。</p> <p>(1) 昨年的一般質問で、市職員・教職員の体験研修として隈原の人参づくりに取り組みないか追及した。農業などの体験研修は職員の人材育成や市の活性化に反映すると察するが、人材育成の研修等をどのように捉え、今後どのようにして取り組むのか。</p> <p>(2) 農業次世代人材投資資金を活用し、次世代を担う農業者人材育成に努めているが、給付金の支援期間が終了した後の支援は、どのように取り組むのか。</p> <p>(3) 農家の後継者不足は一気には解決しないが、広大な農地を荒らさないためには、地域の交流を深めて農業に興味や理解を示す若者の人材育成が求められる。さらに、各地区に継続が可能な認定農業者の育成や指導者が必要な時代だと察する。この課題解決に向けて今までの取組より、多くの後継者育成ができるシステムを整えた人材育成の事業に取り組めないか。</p>	市 長 教育長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. 労働者不足の対策強化について	<p>(1) 一部の加工産業の企業では、すでに東南アジアなどから多くの研修生が職場体験等で働く喜びと日本文化を学ぶ社会活動に努められている。さらに、労働者不足への対策のひとつとして、外国人労働者の受入れ強化や、学習教室を開設して日本語の会話力アップや地域の文化・習慣を学ぶ事業を推進し、外国人労働者が日常の生活で支障のない生活力向上を図り、安心して安全な生活ができる環境整備に取り組めないか問う。</p> <p>(2) 国は各分野の人材不足を懸念して人材確保対策を強化しつつあるが、市内の職場では、労働者の確保が厳しい状況である。この状況が続くと、将来は道路などインフラ整備等を施す業者が経営を持続できなくなることが予想される。この難局を打開するには、市が東南アジア等の国々の市町村と友好関係を積極的に締結し、若い人材が多い国の労働者を受け入れる対策の強化を図れないか問う。</p>	市 長
3. 有川 洋美	1. 聴覚障害のある方々への手話通訳を含めた支援体制について	<p>(1) 平成29年4月から手話通訳者が始良市役所本庁の長寿・障害福祉課に常駐することになったが、現状を問う。</p> <p>(2) 加治木支所、蒲生支所でのニーズはないのか。</p> <p>(3) 庁舎内だけでなく、外勤対応の要請はないか。</p> <p>(4) 聴覚障害のある方々への始良市における支援体制等について説明せよ。</p> <p>(5) 全国手話言語市区長会に加入しているか。加入していないとすると、なぜか。</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. 土砂災害・洪水対策について	<p>(1) 土砂災害警戒区域、土石流危険溪流箇所等について、現状、そして認識を問う。</p> <p>(2) 土砂災害警戒区域、土石流危険溪流箇所等における災害防止対策としての取組を説明せよ。</p> <p>(3) 栢山池の事業に関する申請の進捗状況を問う。</p> <p>(4) 始良市内の河川の状況と洪水対策の取組を説明せよ。</p> <p>(5) 土砂災害・洪水対策、特に減災に関して、鹿児島県、国との連携の現状を説明せよ。</p>	市 長
4. 東馬場 弘	1. 教育行政について	<p>(1) 今年の夏も記録的な猛暑続きであった。この地獄のような猛暑において空調設備設置のないなかでの授業は教職員や児童・生徒にとっては非常に残酷なことである。来年以降も今年のような猛暑が続くことが予想される。このようななか授業に対する集中力低下を緩和する環境づくりのために冬休みや春休みの日数を調整し、暑さ対策(熱中症対策)として、夏休みの期間延長は出来ないか問う。</p> <p>(2) 今年6月18日に発生した大阪北部地震で、ブロック塀倒壊により小学生の尊い生命が失われるという痛ましい事故があった。このことにより全国の幼稚園、小中学校では危険箇所の点検や補修が緊急事案として実施された。本市の対応はスピーディーに処理されたが、全て完了したのか問う。また、校舎や通学路など他の部分に安全性に問題のあるところや危険箇所等はないか問う。</p> <p>(3) 薩摩川内市教育委員会が2020</p>	市 長 教育長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. 国道10号の渋滞の緩和・解消について	<p>年度からの導入を目指している2学期制について、説明会を開いたとの新聞報道があった。2学期制にはメリット、デメリットはあると思うが、本市に2学期制導入の考えはないか問う。</p> <p>(1) ここ数年国道10号は、通勤流動など朝夕のピーク時に渋滞が発生し、車両の速度低下が発生している。特に、朝日町、向江町から岩原交差点の上下線は日中での渋滞もひどく、国道事務所の調査では、混雑時の旅行速度は、加治木町反土で指定速度時速50キロメートルに対して15.8キロメートルという調査結果が出ている。国道は国の管理とはいえ慢性的な渋滞になっていることで、交通事故や通勤・経済流通など、本市にも大きな影響があると思うが、慢性的な渋滞の緩和・解消対策について問う。</p> <p>(2) 都市計画道路としてある(仮称)加治木始良連絡構想線、(仮称)中部地域横断道路や市道岩原通線の国道10号以南の延伸道路について、これまでの進捗と今後の対策を問う。</p>	市 長
5. 岩下陽太郎	1. 鳥獣被害対策について	<p>近年、始良市においても鳥獣被害の件数が増加している。</p> <p>(1) これまで農政課及び林務水産課で対応していた鳥獣対策に関する事業を、現在は農林水産部農政課鳥獣対策係に一本化して市内全体の対策・経費負担等を行っている。</p> <p>現時点においてどのように評価しているのか。</p> <p>(2) 現在、被害が出ていない場所における被害を受けないための対策を実施</p>	市 長 教育長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 子どもの貧困について</p>	<p>しているのか。実施している場合はどのように行われているのか。</p> <p>(3) 子どもの登下校時等において、イノシシやサルなどと遭遇した場合、子どもたちにどのように指導しているのか。</p> <p>(4) 子どもの登下校時等において、イノシシやサルなどに子どもたちを遭遇させないための対策として、どのような取組をしているのか。</p> <p>もし、取組を実施している場合、各団体などと横断的に行われているのか。</p> <p>始良市が実施している子どもの貧困対策として、どのような目的に対してどのような施策や事業があるのか。ここ数年の利用人数や金額等の推移と合わせて示せ。</p> <p>また、国や県などの事業の活用や広報、共同実施などがあれば示せ。</p>	<p>市 長 教育長</p>